

「わくわく調査船プロジェクト2005」実施 2005年8月3日(水)～8月6日(土)

昨年、〈社〉日本港湾協会企画賞を受賞した「[わくわく調査船プロジェクト2004](#)」に引き続き神戸大学海事科学部と発達科学部、国土交通省近畿整備局、大阪市、神戸市などの後援を得て

「わくわく調査船プロジェクト2005」が実施されました。このプロジェクトは、阪神間から公募された中学生が調査隊員となって、神戸大学海事科学部附属練習船「深江丸」で港を巡りながら、港や海・船にまつわる「人・もの・こと」について調査（体験・学習）を行うとともに、隊員による調査結果を、中学生が感じた「港・海・船の過去～現在～未来のすがた」として社会に発信し、港や海の新たな魅力づくりに役立てることを目的としています。

活動の概要

中学生の調査隊員（28名）を5グループに分け、発達科学部の学生5名をグループリーダーとしてチームを編成し、①重化学工業、②観光・レジャー、③交通、④食文化、⑤信仰を対象とした調査チームに分かれて活動を行った。神戸港と高松港を調査対象地域として、それぞれの調査対象ごとに見学調査し、調査結果をまとめた。海事科学部の学生5名は、深江丸の運航の他、発達科学部の学生とともに、船内生活指導、調査活動の支援にあたった。

11月に調査隊員らによる調査結果発表会が実施される予定です。

将来の継続実施を考慮して、今年度から企画委員会を中心とした実施体制とし、後援団体も以下のように強化、拡充されており、なかでも今年度から、神戸大学海事科学部と発達科学部が連携し、企画・実施に両学部の教員、学生が参加するのが特徴です。

「わくわく調査船プロジェクト2005」企画委員会

委員長	井上欣三	神戸大学海事科学部学部長
委員	和田進	神戸大学発達科学部学部長
	瀬尾卓也	国土交通省近畿地方整備局港湾空港部部長
	佐藤友美子	サントリー次世代研究所部長

「わくわく調査船プロジェクト2005」実施部会

委員長	廣野康平	神戸大学海事科学部助教授
委員	矢野吉治	神戸大学海事科学部附属練習船「深江丸」船長
委員	奥田 薫	国土交通省近畿地方整備局港湾空港部 地域港湾空港調整官
委員	中平浩之	国土交通省近畿地方整備局港湾空港部 港湾空港振興室副室長
委員	竹村健治	国土交通省近畿地方整備局港湾空港部 港湾空港振興室技官
委員	久保和弘	神戸大学発達科学部附属住吉中学校教諭
委員	岩井哲也	神戸大学発達科学部附属明石中学校教諭
委員	宮本信治	(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構 企画調査部部長
委員	高田よし恵	(株)生活環境文化研究所
委員	虎石 薫	(株)生活環境文化研究所

後援団体

- 国土交通省近畿地方整備局
- 神戸大学海事科学部
- 神戸大学発達科学部
- 国土交通省近畿運輸局
- 国土交通省神戸運輸監理部
- 神戸市
- 神戸内海海の路ネットワーク推進協議会
- (社)神戸港振興協会
- (社)神戸海事広報協会
- (財)大阪湾ベイエリア開発推進機構

◎乗船者

調査隊員(中学生)	28名
学生リーダー	10名
実施部会委員	8名
乗組員	12名
合計	58名

◎日程

- 7月23日(土) 事前オリエンテーション(海事科学部)
- 8月 3日(水) 神戸大学海事科学部→神戸港中突堤D岸壁(神戸港調査)
- 8月 4日(木) 神戸港→高松港中央埠頭
- 8月 5日(金) 高松港→(北備讃瀬戸大橋・南備讃瀬戸大橋周回)小豆島・池田湾錨泊
- 8月 6日(土) 池田湾錨地→神戸大学海事科学部(船内発表会)
- 11月 「わくわく調査船プロジェクト2005」報告会
(中学生がまとめた調査結果を社会に発信)





出発前の集合写真



神戸港（中突堤）に着岸中の調査船



操舵要領の説明を受ける調査隊員



機関室当直を体験する隊員



